

中国におけるシティポップ：音楽伝播と聴取行動の分析

City Pop Music in China: An Analysis of Music Dissemination and Listening Behavior

黄 烨琳

指導教員 伊藤 謙一郎

東京工科大学大学院 バイオ・情報メディア研究科 メディアサイエンス専攻
伊藤謙一郎研究室

キーワード：シティポップ, 音楽伝播, 聴取行動, 文化交流

1. 研究概要

近年、中国の音楽愛好家の間でシティポップの人气が急上昇しており、それに伴い、さまざまな音楽カバーやアレンジ、シティポップ関連の動画がオンライン上で増加している。シティポップの魅力は言葉の壁を超えて、多くの中国の音楽愛好家に受け入れられており、その背後には音楽伝播の多種多様なプロセスが存在していると考えられる。

本研究はシティポップを通じた日本と中国の相互影響について新たな知見を見出し、異文化交流の一端を明らかにすることを目指す。

2. 研究目的

本研究の主要な目的は、中国におけるシティポップの普及と音楽伝播のプロセスと、その背後にある要因を特定することである。

具体的な目標は以下の通りである。

- 1) 中国のシティポップ愛好家がシティポップをどのように知るようになったかを調査し、情報の入手源を明らかにする。
- 2) いかなるソーシャルメディアによってシティポップが広まったのかを調査し、音楽伝播における新たなメディアの影響を分析する。
- 3) 人々の音楽の嗜好性や性別がシティポップの享受にどのように影響するかを調査・分析し、聴取行動の傾向を明らかにする。

3. 先行研究

2010年代になってシティポップブームが大きく巻き起こった。海外の音楽ファンがYouTubeを通じて日本のシティポップ曲を新たに知るという話をよく耳にするが、なかでも人気なのが竹内まりやの「プラスチック・ラブ」である。

中国のシティポップ情報の多くはYouTube上のコンテンツの配信に由来しており、現在は主にbilibiliやTikTokなどの動画プラットフォームに移植され配信されている。こうした動きが活発化しながらも、中国でシティポップを研究している学者は今のところほとんどいないようである。

韓国のアーティストNight Tempoは積極的にシティポップの情報を発信しており、シティポップに関心を寄せるリスナーの感情を「切ない」「明るい」「大人」「夜」「青春」などの要素に分類し、音楽におけるシティポップの特徴を詳細に説明している。

4. 研究手法

主に以下の4つの観点から研究を行う。

- 1) 情報収集と整理：シティポップに関する中国内の既存情報を集約し、これを詳細に整理する。
- 2) 中国のシティポップ作曲家のアレンジスキル習得に関する調査：中国のシティポップ作曲家がどのようにオリジナル楽曲をアレンジし、中国独自のスタイルで表現しているかを調べる。

- 3) アンケート調査：中国の人々に対し、シティポップに初めて出会ったきっかけや、どのような方法で曲に接したのかアンケートをとり、シティポップの享受に関する情報を収集する。
- 4) 音楽要素の分析：人気の高い楽曲のメロディーやハーモニーなどの音楽要素を詳細に分析し、これらの要素の共通性や独自性を特定する。
- 5) 研究成果のまとめ：研究成果を総括し、中国におけるシティポップの受容と普及のプロセスに特有の特徴があるかどうかを検討する。

5. 現時点の研究状況

(1) アンケートの実施

これまでに、日本および中国において中国人を対象にシティポップに関するアンケートを実施した。アンケートはインターネット環境を利用し、異なる背景を持つ中国人参加者（日本在住9人、中国在住50人）に対して複数の設問に回答してもらう形式をとった。主な設問は、回答者本人の音楽的嗜好やシティポップへの関心度などについてである。それらの設問の一部を以下に示す[図1]。

*7. 你听说过CityPop的用语吗

①听过

②没有

*8. 你听过CityPop吗

①听过

②没有, 完全不了解

*9. 你是通过怎样的方式了解到CityPop的呢

①被朋友安利了

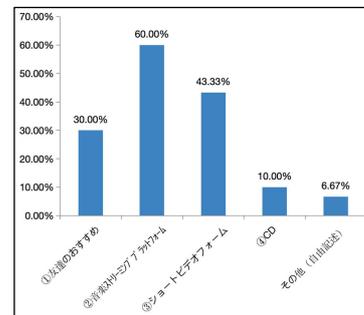
②QQ音乐、网易云等音乐平台的日推

[図1] 問巻網で作成したアンケートフォーム（一部）

(2) アンケート回答の分析

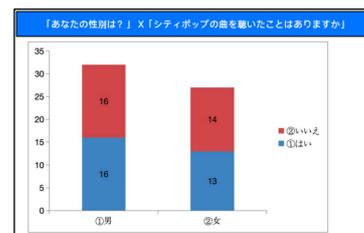
アンケートの各項目の回答を収集・データ化した。本研究者は、ソーシャルメディアや動画共有プラットフォームがシティポップの普及に重要な役割を果たしていることを予想していたが、データからも裏付けされたことは、今後の研究を進める上で、有意な情報が得られたと考えている。

次の図は、シティポップ曲に触れたきっかけを尋ねる設問への回答の割合をまとめたものであるが、ソーシャルメディア（②は音楽、③は映像が中心）を多くの人が挙げていることがわかる[図2]。



[図2] 「シティポップ曲を知ったきっかけ」の設問での回答結果（複数回答）

また、男性と女性の間でシティポップの受容に関して顕著な違いは見られなかった[図3]。



[図3] 独立したサンプルの比較分析

6. 今後の予定

直近の作業としては、これまでに得られたアンケート結果を、さらにさまざまな視点から分析・考察し、シティポップの普及と受容に影響を与える要因を探る。また、楽曲そのものに関する調査も順次、進めていく予定である。

7. 参考文献

- [1]高橋修「シティポップ・ポップ1973-2019」(ミュージック・マガジン, 2019)
- [2]木村ユタカ「シティ・ポップに愛をこめて」(シンコーミュージック・エンタテイメント, 2022)
- [3]Night Tempo「Japanese City Pop 100 selected by Night Tempo」(303 BOOKS, 2022)
- [4]栗本齊「シティポップの基本がこの100枚でわかる!」(星海社, 2022)
- [5]柴崎右二「シティポップとは何か」(河出書房出版, 2022)